



交通安全講話



7月16日(木)、与那原警察署交通課の山下大介様を講師にお迎えし、交通安全講話を実施しました。

知念高校には自転車通学をする生徒が多く、日頃から交通社会の一員として道路を利用しています。特に学校周辺には、県内有数の渋滞箇所である与那原交差点があり、登下校時には多くの車両や歩行者、自転車が行き交っています。また、近年は自転車に関する交通ルールの改正が進められており、これまで以上に一人一人の交通安全に対する意識と責任ある行動が求められています。講話後には、生徒を代表して3年生の水口愛琉さん(与那原中)よりお礼の言葉が述べられました。

今回の講話を通して、生徒一人一人が交通安全への意識をさらに高め、知念高校から交通事故の被害者・加害者が一人も出ないことを願っています。与那原警察署並びに山下大介様、ご多忙の中、本当にありがとうございました。

令和8年度一学期終業式



二学期には、本校のメイン行事である舞台祭が予定されています。生徒の皆さんには、部活動や受験対策、一学期の復習などにしっかりと取り組み、有意義で充実した夏休みを過ごしてほしいと思います。

終業式では、新垣成美教頭から一学期の学事報告が行われました。続いて、進路指導部主任の照屋圭二郎先生、生徒支援部主任の赤堂秀馬先生から、夏休みを迎えるにあたっての心構えについてお話がありました。

令和8年度第一学期終業式が、7月17日(金)に行われました。熱中症対策のため、式は各ホームルーム教室へオンライン配信する形で実施されました。



キャリア教育職員研修



これからの社会で求められる力やキャリア形成の在り方について理解を深めるとともに、探究学習を通して生徒の主体性や課題発見力、協働する力を育むための教員の関わり方について、全職員で共通認識を持つことを目的に、夏休み期間中の7月23日(木)に、沖縄県教育委員会キャリア教育推進事業を活用した校内研修が行われました。講師はCareer Journey OKINAWAの當銘裕美先生です。

研修では「正解のない時代を生きる力を育てる」をテーマに、「やらされる探究」から「自分ごとの探究」へとつなげるための、生徒の問いや主体性を引き出す教員の関わり方について学ぶことができました。

講師の當銘裕美様並びに担当のグッジョブおきなわプロジェクトの新里絵里奈様に深く感謝申し上げます。

薬物乱用防止講話

近年、本県では中高生による大麻所持での逮捕事案が発生するなど、薬物問題の低年齢化が深刻な課題となっています。また、「ゾンビタバコ」とも呼ばれる危険な薬物「エトミデート」の使用も県内で確認されるなど、その脅威は決して他人事ではありません。



7月17日(金)、沖縄県南部地区保護司会与那原支部の保護司である志村幸司様を講師にお迎えし、薬物乱用防止講話を開催しました。生徒の皆さんにとって、夏休みを迎えるにあたり、薬物の恐ろしさについて学び、身近に潜む危険から自分自身を守るための貴重な機会となりました。

生徒を代表して、2年生の親川悠佑さん(佐敷中)より、お礼の言葉がありました。

お忙しい中、貴重なご講話をしていただいた志村幸司様、新垣政考様に心よりお礼申し上げます。